

豊橋市行財政改革プラン2016 (平成28年度-平成32年度) 概要版

◆これまでの行財政改革プランの取組と成果

本市ではこれまで、行政の効率化と財政の健全化を基本に、行財政改革の着実な推進に努め、平成23年度からは豊橋の活力向上を目的とした行財政改革に積極的に取り組んできました。

※行財政改革プランの 主な成果 (H23 - 26年度)

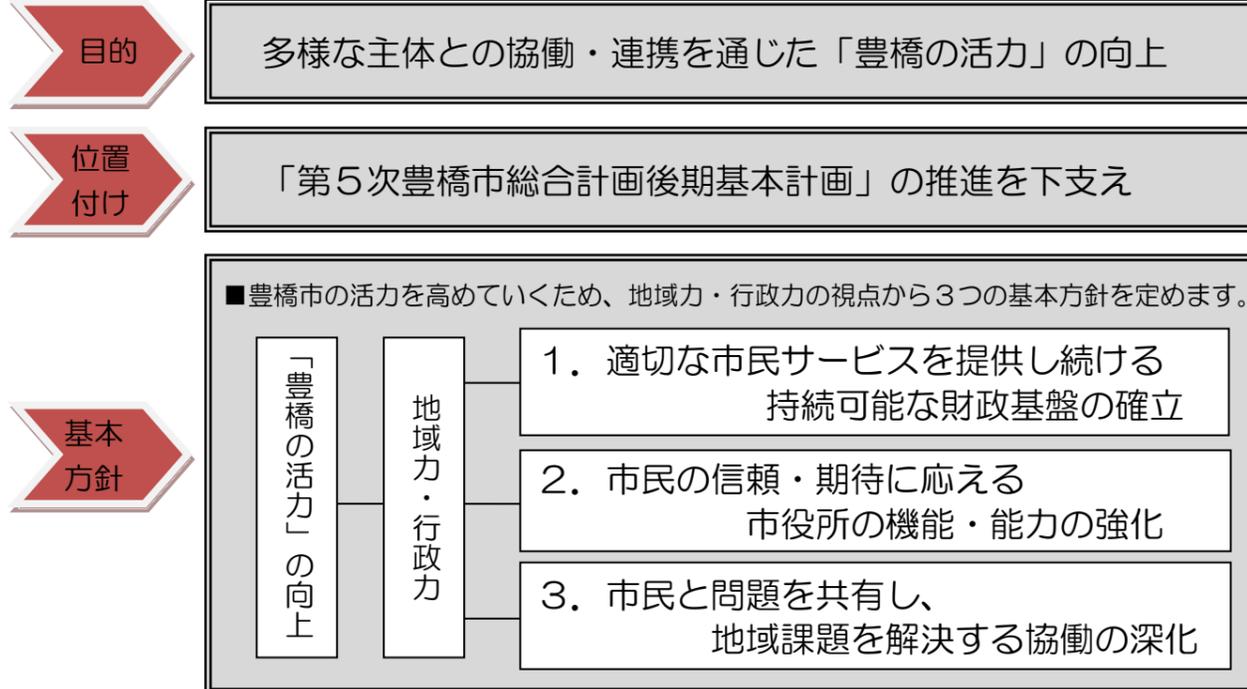
- ✓ 市民等の公益的な地域活動の推進
 - 新規に取組んだ協働事業数 94件
 - 市営住宅の指定管理者制度導入
- ✓ 「自立と責任」の強化に向けた行政体制の整備
 - 職員の定員管理の適正化 47人削減
 - こども未来部の創設
- ✓ 財政運営の自律性・健全性の確保
 - 広域共同処理による滞納整理の実施
 - 民間活力の導入や事業見直しなどにより34億円の経済的効果

◆本市を取り巻く状況

「少子高齢社会」、「人口減少社会」の到来による税収の減少や施設及びインフラの老朽化に伴う維持管理等に係る費用の増大が見込まれ、引き続き、行財政改革に取り組む必要があります。

- ✓ 少子高齢化の進行と人口減少
 - 2040年には人口約34万人となり、平成22年と比較し約4万人減少
 - 生産年齢人口(15歳～64歳)の大幅な減少
- ✓ 公共施設・インフラの老朽化
 - 公共施設・インフラの老朽化の進行
 - 維持管理や更新にかかる費用の増大
- ✓ 今後の財政見通し
 - 税収の減収を予測
 - 財政調整基金残高の大幅な減少
 - 全ての公共施設等の更新・改修費用等の捻出は困難と予測

◆豊橋市行財政改革プラン2016の概要



行財政改革プラン2016の行動計画

3つの基本方針、12の重点推進項目に従い、34の施策を推進します。

